



送電鉄塔敷地保全工事



高生産性設備による林業

当社の採用方針

土木建設業、林業に興味がある方を新卒、中途問わず、お待ちしております。入社後は会社負担にて土木、林業それぞれの専門学校に入学していただきますので文系の方や女性の方も歓迎します。

ココがスゴイ！ POINT

2
point

林業へも進出

森林土木事業だけでなく、その関連産業である林業も同時に行えます。林業の高生産性設備を保有し、安全性、スピード、効率性を重視しています。

1
point

森林土木業における 高い技術力

急峻な地形の山奥で行う森林土木工事は難易度が高いと言われています。木材の切り出しに必要な林道の開設や山を守るための治山事業にて実績を重ね、林野庁、宮崎県から表彰を受けている技術者が多数在席しています。

3
point

トンネルや 長大橋梁など 大型工事の豊富な 実績

河川工事、港湾土木工事など、高度な工事にも挑戦し、現在では相応の技術を要する長大橋梁工事にも実績があります。



県知事賞受賞現場

28

平成30年度国有林間伐再造林推進
コンクール「優秀賞」



港湾工事



高い技術力を持った技術者が多数在籍

山とともに70年 先人たちの想いは不滅

「山」という原点に立ち返り中山間地インフラの新たな守り手へ
宮崎県土の76%を占める
山間部地域に潜在化していたニーズを見出し、
森林土木工事と林業という異なる世界を融合させた独自技術で、
新たなステージを目指す

「山を守りながら中山間地のニーズに応える」

私の父である初代社長が、終戦後の郷土の荒廃に心を痛み、土木業で復興に貢献しようとの思いから森林土木事業を手始めに今年70周年を迎えております。

戦後の復興期に住宅や建物を構築する為に多くの木材が必要となり、その材木を搬出する林道工事に携わりました。また、山を荒廃から守る為に治山事業も同時に行ってきました。

宮崎県土の76%を山林が占めております。これらの中山間地は、人口減少、高齢化など課題を抱えておりますが、自然災害の防災、減災や水源涵養などなくてはならない存在です。

弊社はこのような中山間地に潜在化していたニーズを見出し、働く場を作り、人材を育成していくことでさらなる成長ができると考えております。

代表取締役社長

山崎 司

Yamasaki Tsukasa

1955年生まれ 〔延岡市出身〕

総合建設業の他、石油事業を通して災害に対応できる体制をつくっています。さらに介護施設「大瀬別荘G. H. (グループホーム)」を九州保健福祉大教授だった妻を中心に運営させて頂いております。社員総数83名中、女性が3割を占めています。女性職員の雇用を5割まで増やしていきたいと考えております。

「山」で培ってきた技術を未来に繋ぐ責務
林業事業を機に自社ブランディングが進み、営業範囲拡大

昭和26年の創業以来、林野庁の森林土木工事で培った技術をベースに国土交通省や宮崎県が発注する難易度の高い公共工事に挑戦し、トンネルや長大橋を手掛けることで業績を伸ばしてきました。

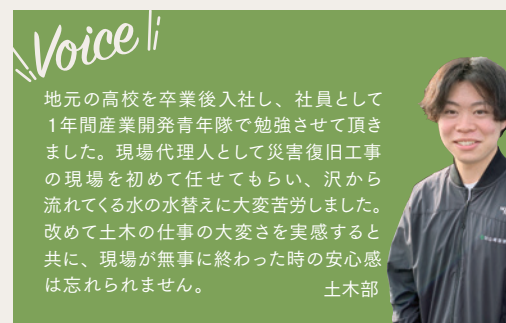
次のチャレンジとして、公共工事への比率の削減を経営上の課題とし、創業時から脈々と培ってきた森林土木技術を高く評価してくれる顧客を模索。そんな時、大手電力会社の送電鉄塔建設における資材搬入路の整備で、同社が有する最も経験豊富な林道開設工事技術のPRに成功しました。2014年から延岡市でも50万ボルトの送電線新設工事が行われるという幸運にも恵まれ、森林土木技術を活かした送電鉄塔の建設に携わることができたのです。

林業には、高い安全性を求める大手電力会社のニーズがあると考え、事業の新しい柱として、2017年に林業事業部を創設しました。大手電力会社の配電線に架かる木々の伐採業務を手掛けるとともに、台風災害時の風倒木除去業務の緊急依頼時は瞬時に出勤するなど、特に災害対応での信頼が深まりました。同時に森林土木工事と林業を一括して行える会社として、ブランディングにも努めました。

その結果、県内各地のメガソーラーパーク建設時には、電力関連会社から林業と土木工事一括での受注に成功しました。中山間地でのダムの環境調査業務や配電線に架かる風倒木の撤去業務、送電鉄塔基礎補強工事増加を見込んで、新たな挑戦のため、2018年に木城支店を開設。当初、同地域での人材確保など苦労もありましたが、信頼できる事業パートナーに出会えたことで、年間を通したインフラの維持管理を軌道にのせることができました。

「本来の主柱である土木工事は、3年連続橋梁関係の工事で県知事賞を受賞するなど、高い評価を得ています。その分、高度な知識や技能、自然環境相手の厳しい職場条件など、社員は高いレベルが求められています。中山間地インフラ維持管理などの新規事業の収益を、社員の生活を支えてくれている家族の方に還元できるように努めています」と、山崎社長は話します。

ここ1、2年、大手企業から森林関連事業のパートナーに指名されるなど問い合わせも増えており、「山」で先人が培った技術を未来へ繋げる道筋が整いました。



地元の高校を卒業後入社し、社員として1年間産業開発青年隊で勉強させて頂きました。現場代理人として災害復旧工事の現場を初めて任せてもらい、沢から流れてくる水の水替えに大変苦労しました。改めて土木の仕事の大変さを実感すると共に、現場が無事に終わった時の安心感は忘れられません。 土木部



28 株式会社 山崎産業
〔業種〕総合工事業・林業・その他小売業・介護事業

〒882-0073 延岡市具の畑町2903番地
TEL.0982-38-0001 FAX.0982-38-0567

代 表：代表取締役社長 山崎 司
資本金：3,000万円
社員数：75名(2021年5月末現在)
創業年：1951年